

Case : 184

電話機と間違えて操作し続けたため、ベッドが最大高まであがってしまう

場面の説明

手元スイッチを受話器と勘違いしており、操作ボタンを押しているうちにベッドの高さが上がってしまった



利用シーン

リモコン操作

主な利用場所

寝室

介護保険の種目

特殊寝台

分類コード(CCTA95)

181209(電動ギャッチベッド)

介護テクノロジー

-

二次元バーコード



解説

事故にならないければ、ひやりとしなければ見過ごしてしまうようなことでも、実は「ひとつ間違えば...」という危険な場面はたくさんあります。この事例も、手元スイッチのコードが体に巻きつく、最大高さのベッドから降りようとするなど「ひとつ間違えば...」の場面を想像すると、単なる笑い話では済まされない危険を感じます。

参考要因

- 人：手元スイッチを受話器を勘違いしていた
- 人：利用者が触れる位置に手元スイッチを置いていた
- 人：認知症状があった
- モノ：手元スイッチに誤操作防止のためのロック機構がなかった